

会之堀川、谷原地区 大規模雨水処理施設整備事業計画（春日部市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	会之堀川、谷原地区は、本市の中心部に位置しており、低地の市街地であることから、これまでに多くの浸水被害が発生している。平成20年の集中豪雨では、床上浸水戸数は9戸、浸水戸数は183戸発生しており、都市機能に影響を及ぼす大規模な浸水被害であることから、早急な浸水対策が急務である。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：89mm/h ・目標とする理由：平成20年8月に春日部市で記録した既往最大降雨：89mm/h ・ハード整備による整備水準の目標：89mm/h（10年確率降雨） ② 目標設定 i) 生命の保護の観点：床上浸水被害を解消し、床下浸水を概ね解消させる。 ii) 都市機能の確保の観点：特になし。 iii) 個人財産の保護の観点：床上浸水被害を解消し、床下浸水を概ね解消させる。 iv) その他：特になし ③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 - 施設整備により 89mm/h（10年確率）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 - 下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地元住民等による土嚢の設置、自主防災組織による防災訓練の実施など、各主体が対策を実施することにより、被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有（平成 年 月 日策定済み） ・ 策定予定（令和8年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水管渠の整備 整備延長 L=950m ・ 雨水貯留施設の整備 貯留能力 1,700m³
		ソフト対策	下水道管理者	・ 条例に基づく雨水流出抑制の指導 ・ 内水ハザードマップの作成・公表 ・ 大雨、洪水警報時の市内パトロール ・ 水害時対応訓練の実施 など
			下水道管理者	・ 出前講座の実施（危機管理防災課）

			以外	・ハザードマップの公表（危機管理防災課） ・土嚢の配布(危機管理防災課) ・SNS を活用した気象警報、交通状況の情報提供（シティセールス広報課）
	自 助	ハード 対策		・防災資機材の備蓄（危機管理防災課）
		ソフト 対策		・自主防災組織による防災訓練の実施

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また，下水道管理者以外が行う施策については，道路管理者など実施主体，制度要綱等を具体的に記述

- *下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること（別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照）。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。
- *下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を総合地震対策計画に位置づけること。
- *下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

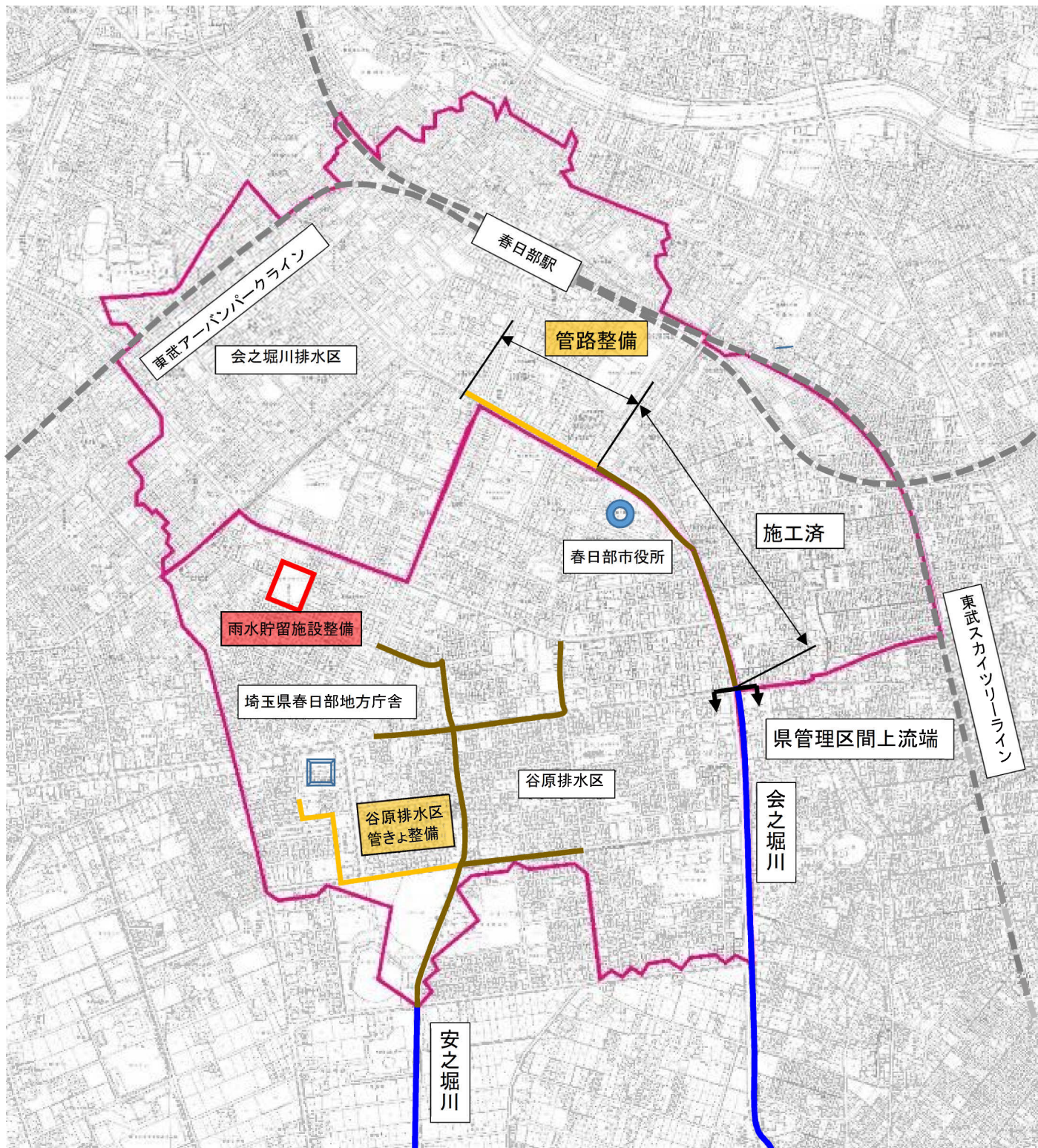
年度計画（百万円）

名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
雨水管渠 （会之堀川排水区）	445	425	456	285	1611
雨水管渠 （谷原排水区）	298	98			396
雨水貯留施設	202				202
計	945	523	456	285	2209

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 浸水被害の軽減便益：386 百万円が削減される。 B／C：3.0 経済的内部収益率：16.9%
その他	



対象施設位置図

会之堀川、谷原地区 大規模雨水処理施設整備事業（春日部市）

- 会之堀川、谷原地区では、平成20年8月豪雨（時間最大雨量89mm/h）により、甚大な内水浸水被害が発生。
- 会之堀川、谷原地区大規模雨水処理施設整備事業により、雨水管渠の整備等を行い、89mm/hの降雨に対して床上浸水被害の解消を図る。



会之堀川、谷原地区

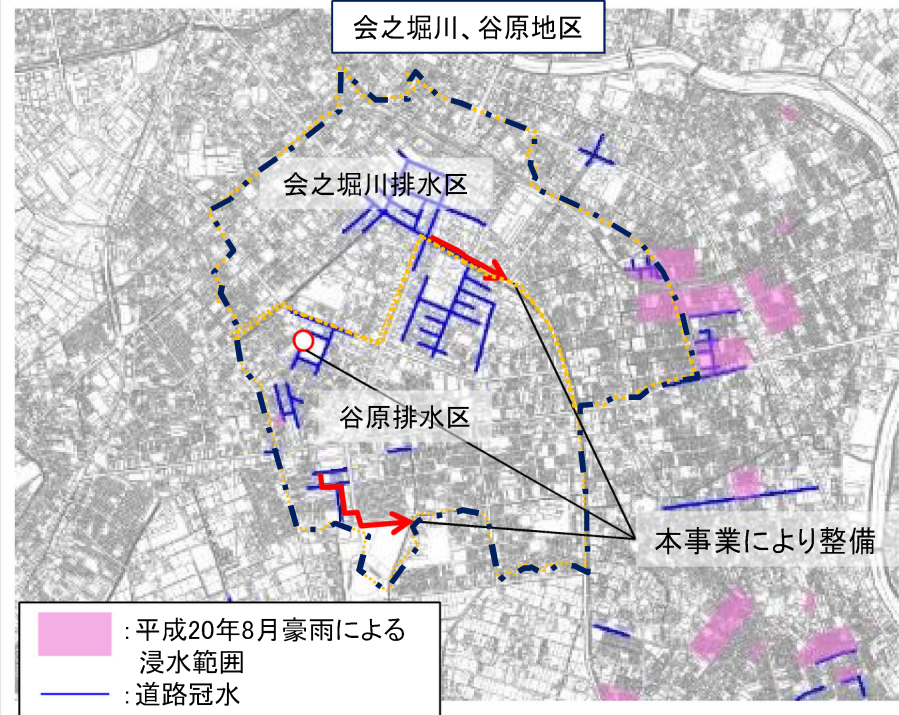
平成20年8月豪雨による被害状況



時間最大降雨: 89mm/h
床上浸水: 9戸、床下浸水: 183戸

事業概要

- 事業内容 : 雨水管渠整備 L=950m
雨水貯留施設整備 V=1,700m³ 等
- 全体事業費 : 約22億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 令和6年度～令和9年度



- 地元状況: 地元自治会が、緊急的かつ効率的な治水対策を要望。

事業の効果

平成20年8月豪雨と同規模の降雨（89mm/h）に対して、床上浸水被害を解消。

<平成20年8月豪雨の被害軽減効果>

床上浸水（浸水深0.45以上）
9戸 → 0戸
床下浸水（浸水深0～0.45）
183戸 → 38戸

$$B/C=3.04$$

整備効果

事業実施により家屋の床上浸水解消

